

知恵の実なり難し

ニュートンリンゴ初結実

田 大 学 園
発 和 敬 新

新発田市富塚の敬和学園 びてきている。

大に植えられた「ニュートンのりんごの木」が、今年初めて実を結び、赤みを帯

万有引力の法則の着想を

得たとされるニュートンの

リンゴの木は、英国中部の

ニュートンの実家の裏庭にあったが、その後、接ぎ木されて全世界に広まった。同大の場合は、秋田県果樹試験場の木から接ぎ木された約三十センチの苗を譲り受け、一九九一年四月の開学式で「ニュートンのように世界をリードする人材が育

って欲しい」との願いを込めて植樹された。

以来五年間、花は咲いても実は結ばない木だったが、ついに今年、約百個の小さなリンゴが二十個ほど実った。あいにく台風などで次々と落ち、残る実は五つとなってしまったが、ニュートンならぬ人文学部の西村秀雄助教授（科学史専攻）は「案外リンゴの実はずぐ落ちるものだ」と、新法則？の発見を披露。無事残った実は「ユニークな活動をした学生へのご褒美にしたい」と話していた。



リンゴの実を見上げる学生ら